資料1

令和6年度各専門部会等の事業計画

令和6年(2024)7月17日 出雲市健康福祉部福祉推進課

令和6~8年度 じりつ専門部会 活動計画

(施設からの地域移行ワーキング)

			,	y らの地域移		- /	~ ~ TD (1) 1 3m DT		
取組課題		施設やグループホームからの地域移行、地域定着についての現状と課題、今後の取組内容について、検討を行います。							
部会員	氏名	◎濱村	○高尾	玉木	川島	富岡	木村、砂田、三沢		
(〇副会長)	事業所名	光風園	出雲サンホーム	かのん	かのん	Reve	事務局		
ね	らい	令和6年度 施設からグループホームを経て地域への移行の流れをふまえ、まずはグループホームからの地域移行の現状および課題を把握する。							
方	法	相談支援専門員を対象にしたアンケートを行い、グループホームから地域移行をされるケースの実情を把握し、現状や課題を抽出する。							
	5月	活動計画の	検討						
	6月	活動計画作	成、アンケ-	-ト内容の検	言寸				
	7月	「グループホームから地域移行したケースに関する実態アンケート」を実施							
具体的 な方法	8~12月	アンケート結果をもとにケースの聞き取り (相談支援専門員、グループホームサビ管等) 8月・10月・12月に経過報告の為WG会議を定期開催							
	6・9・ 11・1月	じりつ部会合同会議							
	2月	サービス調	整会議(じり)つ専門部会	合同企画):	テーマ:住ま	きい		
	3月	2月企画のふりかえり、次年度活動方針の具体化							
ね	らい	グループホームからの地域移行をかなえる手立てを考える。							
方法等 (いつ頃に何をするか)		令和6年度の活動結果から課題をまとめ、対応および方策について検討する。 (特定の課題もしくは複数の個別課題に焦点を当てるかは令和6年度の成果による) 後期:企画開催の検討(じりつ部会での全体協議による)							
ねらい		グループホームから地域への円滑な地域移行の手立てをまとめる							
	法等 ^{可をするか)}	次期3年で「施設から地域への移行の現状と課題、取り組み」を実施するための骨 子を検討							

令和6~8年度 じりつ専門部会 活動計画

(地域包括ケアシステムを活用した精神障がい者の支援ワーキング)

取組課題			アシステムを	を活用した料		の支援につ	いて、現状と		
部会員	氏名	○渡部	○勝部	 森谷	矢野	土井	山本		
(◎会長) (○副会長)	事業所名	ふあっと	桑友	桑友	保健所	保健所	事務局		
ねらい		令和6年度 ・認知症の有無に関わらず精神疾患がある高齢者の退院支援における現状と 課題を明らかにする ・利用者が求める住まいと居住支援について検討する							
方	法	・ケアマネ・	や高齢者施記	没等へのヒラ	アリング				
	6月	じりつ部会	合同会議(年	F間事業計画	画の検討、サ	ービス調整	会議の企画)		
	7月	ヒアリング	準備、検討						
	8月	(項目整理、	. ヒアリング	ブ先、手法	・対象の選定	、日程調整)		
	9月	じりつ部会合同会議(サービス調整会議準備)							
具体的	10月	ヒアリング実施、まとめ(現状と課題を明らかにする)							
な方法	11月	じりつ部会合同会議(サービス調整会議準備)							
	12月	ヒアリング	実施、まとぬ	り(現状と記	果題を明らか	にする)			
	1月	じりつ部会	合同会議(+	ナービス調整	と会議準備)				
	2月	サービス調整会議:「住まい」をテーマに開催							
	3月	次年度に向けてのまとめ							
		令和 7 年 度 ■							
ね	らい	・精神疾患がある高齢者の退院支援(地域移行)							
方法等(いつ頃に何をするか)		・R6年度、ヒアリング実施結果から現状と課題を元に意見交換を行い退院 支援の取り組みを具体的にしていく ・家族交流会の振り返り ・強度行動障がい者専用施設からの地域移行(利用者の実態把握)						以	
		令 和 8年 度							
ね	らい	・精神疾患	がある高齢者	当の退院支持 	爱(地域移行 —————	-)			
	法等可をするか)	・三年間のまとめ							

令和6~8年度 こども専門部会 活動計画

		手供入自牌	- お い日 5 万	도고IB 사 B	可猝1日 /二科	原金より 、月 ナ	. レール + ム :	m かかわ士	
H= 4	取組課題		重症心身障がい児や医ケア児、外国籍児、行動障がい児などよりきめ細やかな支援が必要な児の児童発達支援や放課後デイサービス、短期入所等の受け入れ促進						
月又养			にむけて、現状やニーズ把握を行い、方策を検討し提言します。						
部会員 (◎会長)	氏名	○岡本勝部	○田中 福田 _曲	矢田	岡	夕永	足立 三沢		
(〇副会長)	事業所名	さざなみ学園	プレーゲ	ハートピア スマイル	つくつく	CSいずも	事務局		
ね	らい			令和6年 い児サービス や課題を知る	ス提供事業所	fをはじめ、	課題に関連	した関係機	
方	法			意見交換会を 役所内子育で				とに相談支	
	4月22日	第1回部会:	活動計画・	年間計画の検	討				
	5月22日	第2回部会:	活動計画作用	或、意見交換:	会の検討				
	6月19日	第3回部会:	意見交換会	準備					
	7月12日		《7/2(火)10:00-12:00 放デイGワールドカフェ》 第 4 回部会:前回意見交換会振り返り、児発G意見交換会準備						
	8月21日	《15:30-17:00 児発G意見交換会》							
具体的	9月18日	第5回部会:意見交換会振り返り、11月調整会議の検討							
な方法	10月30日	第6回部会:							
	11月20日	第7回部会:調整会議準備 《11/27 サービス調整会議》							
	12月18日	第8回部会:調整会議振り返り 子育て部局と							
	1月22日	第9回部会:6年度活動まとめ 7年度活動計画の検討 の情報共有							
	2月19日	第10回部会:7年度活動計画の検討							
	3月19日	第11回部会							
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							
ね	らい	前年度に出た現状・課題を分析し、取り組むべき課題を検討する。							
方法等 (いつ頃に何をするか)		課題整理を行い、取り組みの方向性を検討する。必要に応じて、さらに意見収集を実施したり、関係機関へのフィードバックを行う。 ※必要に応じて課題に関連した関係機関への部会参加依頼を行う可能性もあり							
				令和 8年	度				
ね	らい	前年度まで	に整理した	課題について	て、提言でき	る形にまと	める。		
方法等 (いつ頃に何をするか)		4~7月:部会開催 まとめ (部会はR9.3月まで予定) ※令和8年8月頃には提言(素案)							

令和6~8年度 そうだん専門部会 活動計画

取組課題		現状の本市における相談支援体制や活動内容について検証・評価を行うとともに、障がい者や家族、地域住民等にとってアクセスしやすい相談支援体制、専門的な指導や助言、人材育成等さらなる強化・充実に向け基幹相談支援センター等の設置の在り方や重層的な仕組みを含めて、出雲らしい相談支援体制の構築について検討し提言します。							
部会員 (©会長)	氏名	◎布野	景山	○足立	渡部	足立・青木	高山・山本		
(〇副会長)	事業所名	ハートピア出 雲	ハートピア出 雲	ふあっと	ふあっと	事務局	事務局		
令和6年度 本市の相談支援体制や活動内容の検証・評価を行い、出雲らしい相談 あり方について方向性を出す。					らしい相談る	支援体制の			
方法	等	相談支援事	業所へのア	ンケート調査	至、関係団体	等へのヒア	リング、研修	多を実施す	
	5月	・3年間の音	3会の活動計	十画を検討・	作成				
	6月	7月サー研修会へ		議での研修の)企画立案				
	7月	・相談支援の役割と機能の整理 ・相談支援事業所アンケート(案)の作成・協議 ・サービス調整会議にて研修の実施							
	8月	・相談支援事業所アンケート(案)の作成・協議 ・関係団体等へのヒアリングの検討							
	9月	・相談支援事業所アンケートの実施 ・関係団体等へのヒアリングの検討と実施 ・相談支援事業所へのヒアリングの実施(市にて実施)							
具体的な 方法 	10月	・相談支援事業所アンケートの結果の考察 ・関係団体等へのヒアリングの実施 ・相談支援事業所へのヒアリングの実施(市にて実施)							
	11月	・相談支援事業所アンケートの結果の考察 ・関係団体等へのヒアリングの結果の考察							
	12月	・現状と課題の評価 ・委託相談支援事業所の実績の分析							
	1月	・現状と課	題の評価						
	2月	・現状と課							
3月 ・ 現状と課題の評価 ・ 方向性の検討									

	令和 7年度
ねらい	出雲らしい相談支援体制(案)を示し、意見を求める。
方法等(いつ頃に何をするか)	令和6年度実施の相談支援事業所へのアンケート及び関係団体等へのヒアリングから得られた現状と課題をもとに、出雲らしい相談支援体制の構築に繋げる。
	令和 8 年 度
ねらい	出雲らしい相談支援体制を提言する。
方法等	出雲らしい相談支援体制の提言に向けて相談支援体制(案)をまとめる。
(いつ頃に何をするか)	※令和8年8月頃には提言(素案)

令和6年度 就労支援ネットワーク会議 活動計画書

	11 形					
	リーダー : 青木(あそび) 副リーダー: 安田(リーフ)					
	書記:二岡(虹の工房まるべり一) 古角(やまびこ園)					
	メンバー : 佐藤(あそび)					
	小豆滓 (豆の樹) 山根 (ハローワーク出雲) 福田 (リーフ)					
メンバー	は、					
	藤井(出雲保健所) 佐藤(アトリエール)					
	原(島根県東部高等技術校)細木(しまね東部若者サポートステーション)					
	森山(島根県中小企業家同友会/Office Sou)					
	吉川(スタンド UP) 佐藤(飾彩房)					
	原田(太陽の里) 福間(太陽の里)					
	事務局:原田(福祉推進課) 高木(福祉推進課)					
	①障がい者の就労をめぐっては、福祉・労働・教育・医療・行政など多分野の関係					
	機関がかかわっている。当事者にとって最善の支援を行っていくためにも、必要					
	な支援システムを創造していくためにも、互いに顔が見える連携、協働が生まれ					
	る基盤としての関係機関ネットワークが必要である。					
	②社会情勢が変化していく中で、障がい者雇用を維持推進していくには、企業側の					
現	ニーズをしっかり捉え相互理解と連携の地盤づくりを進める必要がある。					
	③地域に就労移行支援事業所が少ない。就労継続支援の事業所から一般就労を希望 される方がある。希望に応じたステップアップの機会を得られるよう、就職にむ 					
(問題点・課題)	される万かめる。布室に応したステッノアッノの機会を得られるよう、就職にむ けた支援について事業所スタッフに意識やノウハウを広めていく必要がある。					
	のた文族に プロピー					
	ある。いざという時に有効な支援が提供できるためには、ゆるやかでも継続的な					
	サポートの仕組みが必要である。					
	⑤就労アセスメントに代わり導入される「就労選択支援」について、当事者にとっ					
	て有用なものとして活用されるよう、情報の収集や共有が必要である。					
	【今年度の目標】					
テーマ	①障がい者の一般就労を支援する組織横断的な事業の企画運営					
(ねらい)	②企業とのつながり作り					
	③一般就労にむけた支援ノウハウの普及浸透					
	④ゆるやかな就労定着支援の場の提供					
	⑤「就労選択支援」の出雲での運用のあり方について検討する					
	*ネットワーク会議の開催(2月に1回程度) *事例検討					
	*合同ジョブガイダンス:10月予定					
	*企業とのつながり作り(福祉事業所見学会): 9月27日予定					
具体的方法	*#ツリーカフェ:偶数月第2木曜日 18:00~19:00 頃					
(評価を含む)	障がい者雇用についての情報交換の場					
	*福祉から一般就労へステップアップ意見交換会:12月予定					
	福祉就労事業所スタッフ対象に、一般就労支援のノウハウを情報提供					
	*はたらく仲間のコーヒータイム:毎月第3金曜日 18:00~19:00					

年 間 計 画

月	内 容		備考
4月	4/11 #ツリーカフェ (偶数月第2木曜) �� 4/19 はたらく仲間のコーヒータイム (毎月第3 4/23 第1回ネットワーク会議	スターバックスコーヒーゆめタウン出雲店 市役所 401 会議室 ふじひろ珈琲	
5月		5 /17	
6月	第2回ネットワーク会議・事例検討	⊕ _{6/13} = _{6/21}	事例提供:デイケアピノキオ
7月		2 7/19	
8月	第3回ネットワーク会議・事例検討	⊕ _{8/8} = _{8/16}	事例提供:フロンティー
9月	企業とのつながり作り(福祉事業所見学会)	₽ 9/20	
10 月	第4回ネットワーク会議・事例検討 合同ジョブガイダンス	⊕ _{10/10} □ _{10/18}	事例提供:アトリエール
11 月	(11/7 障害者雇用面談会)	1 1/15	
12 月	第5回ネットワーク会議・事例検討 福祉から一般就労へステップアップ意見交換会	⊕ _{12/12} □ _{12/20}	事例提供:虹の工房まるべりー
1月		▶1/17	
2月	第6回ネットワーク会議・事例検討	⊕ _{2/13} = _{2/21}	事例提供:リーフ
3月		■3/21	

令和6年度 サビ管・児発管等ネットワーク会議 事業計画書

メンバー	会長 : 池田 (ぽこぽこ)
	副会長:長澤(美野園)書記:金友(WANAJAPAN))
	<メンバー>
	居住系 WG : 松尾 (光風園)、矢野 (わかば)
	GH系 WG : 富岡 (ふあっと)、石富 (かんど)
	日中活動系 WG:金友(WANAJAPAN)、福島(麦の家)
	就労支援 WG : 武田 (ミライカ)、永田 (エルパティオ)
	居宅介護 WG : 松井 (さくら)
	児童通所 WG : 寄貞(すだちクラブ)加本(いろどり)
	丸亀(スタンドバイ YOU)
	事務局:大島、山本(福祉推進課)
現状	(1) WG のメンバーが固定されてきたり、減少してきてい
(問題点・課題)	る。WGの実施が困難な事業種もある。
	(2)より質の高いサービスを提供する為には横の繋がり
	も大切であるが縦の繋がりや情報を知る必要があ
	る。
テーマ (ねらい)	(1) サービス管理責任者や児童発達支援管理責任者等
	が、情報交換やサービスの質の向上に繋がる取組
	を行いながら、孤立しない顔の見えるネットワー
	クの構築を目指す。
	(2) 事業種を超えて共通のテーマで意見交換(ビヨン
	ドプロジェクト等)を行い、縦の繋がりを深める
	事で障がいのある方を切れ目なく支援する。
具体的方法	(1)
(評価を含む)	①会の開催 年4回(4月、7月、11月、2月)
	・各WGの活動報告
	・虐待防止・権利擁護研修等の企画、準備
	※実施形態はWG単位。各WGにあった研修となるように
	する。
	②WGの開催(年間計画参照)
	(2) はついじゅうご カトの他の並んで出てよった地
	・ビョンドプロジェクトや他の部会で共通するテーマを決し、
	め意見交換の場を設ける。

年間計画

	一	
	内容	備考
4月	第1回サビ管・児発管ネットワーク会議	
	年間計画の確認	
	・ビヨンドプロジェクトについて	
5月		GH系WG
- / •		就労支援 WG・児童通所 WG
6月		居住系 WG・日中活動系 WG
0 /1		児童通所 WG
		九重地// WG
7月	第2回サビ管・児発管ネットワーク会議	GH系WG
	・各WGの活動状況報告	居住系 WG・日中活動系 WG
	・虐待防止・権利擁護研修について	就労支援 WG
	・ビョンドプロジェクトについて	
8月		
0 / 1		
9月	ビヨンドプロジェクト打ち合わせ	就労支援 WG
10月	虐待防止・権利擁護研修	児童通所 WG
	・実施形態WG単位	
	ビヨンドプロジェクト打ち合わせ	
11月	第3回サビ管・児発管ネットワーク会議	GH系WG
/ •	・各WGの活動状況報告	居住系 WG・日中活動系 WG
	・虐待防止・権利擁護研修の振り返りについて	就労支援 WG
	・ビョンドプロジェクトについて	1/3 / 1/X IIV
	・ ヒコンドプロジェクト(について) ビヨンドプロジェクト (第1回	
10日	ヒョントノロンエクト (第1回 ビョンドプロジェクト打ち合わせ	
12月	レコントノロンエクト打り合わせ 	
1月	 ビヨンドプロジェクト打ち合わせ	
1/1	ビョンドプロジェクト (第2回)	
2月	 第4回サビ管・児発管ネットワーク会議	L GH系 WG・就労支援 WG
27	・各WGの活動状況報告	児童通所 WG
		1 1
	・ビョンドプロジェクトの振り返りについて	居住系 WG・日中活動系 WG
0 11	・今年度の反省・次年度の体制、計画立案について	
3月		

[※]開催が難しいWGについては、状況を見ながら可能な範囲で開催をしていく方向。